

必携 卒業課題研究の執筆に向けて

はじめに

卒業課題研究（以下、卒研）は4年間、臨床心理専攻で学んできたことの集大成である。それだけに真摯な姿勢で取り組むことが期待される。

しかしながら、提出間際に調査を終え、得られたデータを十分に検討しないまま提出されるケースが、残念ながらここ数年、多々見られる。このような悪しき傾向を受け継ぐ必要は全くない。卒研への真摯な取り組みを通して、最後の一年でさらなる成長を期待してやまない。

以下のスケジュールをよく把握し、期限を念頭においてこつこつ進めていくこと。調査研究を計画する場合は、調査申請の締切を念頭におき準備しなければならない。また、調査研究を行わない場合は相当量の文献を読み込み、考察を積み重ねてゆく必要がある。

1.1 評価基準

卒研の評価基準は、以下の通りである。

1. 先行研究が適切に参照・吟味されていること
2. 問題設定が適切であること
3. 研究手法が問題設定に適合していること
4. 得られたデータが適切に処理され、結果が明瞭に記述されていること
5. 論考が結果に即して論理的に展開されていること
6. 結果や論考に一定の独自性が認められること
7. 引用等が適切になされ、論文としての体裁が整っていること

1.2 題目提出

6月26日（水）に指導教員に提出する。

1.3 本体提出と合否判定までの流れ

①一次提出：11月13日（水）（提出先；指導教員）。電子ファイル可。担当教員の指示に従う。
提出された論文に対して指導教員がコメントする。それを踏まえて、完成に向けて加筆修正。

②最終提出：12月10日（火）～13日（金）午後3時（時間厳守 正本提出先；教務課）。
副本は共同研究室に提出すること。

③発表会（試問）：2025年1月15日（水）・22日（水）。両日とも午前～夕方を予定。
発表後、同日に合否判定結果を発表する予定。

2.1. 授業の進め方について

<春学期>

(1)原則として指導教員ごとに集まって、小グループで執筆の準備を進める。

(2)5月15日（水）、5月22日（水）に合同中間発表を行い、**問題設定を明確化する**。

<秋学期>

(1)9月25日（水）、10月2日（水）に合同中間発表を行い、**研究計画を確定する**。

(2)その後の授業は、受講生の進捗状況をみて、各指導教員が判断・指示する。

2.2. 発表について

(1) 合同発表の諸注意

- ・他授業との重複等ないかぎり、開始から終了まで、ずっと出席・参加する。
- ・発表は1人8-10分程度、ディスカッション5-6分の合計15分程度。B4用紙1枚のレジュメを作成する。参考資料がある場合は、添付資料としてレジュメとは別に扱う。
- ・レジュメの最初に、タイトルおよびキーワード（日本語と英語）を三つあげること。
- ・引用・参考文献リストの書き方は、これまでの演習等で指導したように正確に行うこと。
- ・各部屋の参加予定人数（学生+教員2or1）分のレジュメ、および添付資料を各自コピーして用意。
- ・5月と9月の発表では内容が当然異なる。5月の発表は、自身の問題意識をふまえて、どのような先行研究がなされているかをまとめることを通して、テーマを明確に設定するまでの筋道をつけるための機会である。9月の発表では、目的を明確にすると共に、仮説を立て、仮説を検証する方法を具体的に決定したところまでをまとめて発表する。

(2) 春学期 秋学期 合同発表会日程および班分け

班	日程	発表者					
A 千原・高嶋	5月15日、9月25日	伊藤 叶笑	桐山 環	下村 喜彦	中臺 理生之助		
	5月22日、10月2日	真鍋 智子	森田 奈央	矢崎 友萌	矢田 美歩	山中 理江	
B 高森・松井	5月15日、9月25日	伊庭 新	是則 達央	坂本 稜真	田邊 はつよ	平田 恵時	
	5月22日、10月2日	深沢 太貴	福井 舞理奈	松田 愛子	村松 正継		
C 橋本	5月15日、9月25日	岩金 優羽	金子 実友葵	杉本 美嘉	橋詰 夏希		
	5月22日、10月2日	長谷 佳奈江	藤原 拓哉	松本 大空	山崎 周吾		

- * 発表日の都合が就活等でどうしてもつかない場合は、前もって各自で同班内にて交代し、担当教員に報告すること。
- * 実施教室については後日連絡する。
- * 自分の発表のない日は同グループ（A,B,C）の発表に参加

3. 調査について

質問紙などによる調査研究に際しては、指導教員への書類申請が必要（5～6頁参照）。

調査を行う場合には、所定の書式に必要事項を記入し、指導教員に提出し捺印を受ける。授業時間を使つての調査を希望する場合には、調査実施日の1週間前までに、授業担当の先生の承諾を得る。その際には、可能な限り先生の元へ、申請書類と使用する質問紙を持参のうえ、直接出向いて、了承を得る。なお、出向く際には事前にメールでアポイントをとることを忘れずに。

指導教員の押印はそれより早くもらっておくことになる。スケジュールを逆算し、事前に十分に計画を立てて準備をすすめる。この締切を過ぎてからの調査研究は一切行えない。

調査にご協力いただいた場合は、卒研執筆後にお礼に伺うこと。作成した抄録などを持参し、結果報告して、お礼を述べるところまできちんと行う。

調査終了のデッドラインは10月15日（火）：一次提出まで約3週間。

したがって、調査の依頼は10月8日（火）までに済ませておく必要あり。

4. 論文の書き方について

4.1. 卒研の執筆規定

(a) 枚数規定

400 字詰め原稿用紙換算 20 枚～50 枚（文字数 8,000 字～20,000 字）

標準書式 1 頁あたり 35 字 × 40 行（1,400 字：規定枚数 3.5 枚）

(b) 図表について（図表は、枚数にはカウントされない。）

図や表は、図 1、表 1 など順序をつけ、それぞれの題、項目などは原則として和文で記載する。SPSS で作られた図、表をそのまま貼り付けない。『心理臨床学研究』等、ジャーナルを参照。

(c) データの扱い方 文章として記載することは避け、極力、図表化する。

(d) 文中の外国語の表記には半角を使用。

(e) 文中の引用は、『心理臨床学研究』等のジャーナルに基づいて行う。

(f) 文末の引用文献について（本文の枚数にはカウントされない。）

(g) 要約について。正本、副本 両方の前に添付して提出する。要約の書式は別添。

表紙、用紙については、秋学期に配布。

(h) 論文提出表。教務で配布されている。事前に入手し、記入しておく。

(i) 表紙につける題目、氏名用の、シールを配布。

4.2. 論文の形式は、調査研究と文献研究に大別されるが。ここではまず調査研究の論文構成について説明する。論文全体は、(1)問題、(2)目的（と仮説）、(3)方法、(4)結果、(5)考察で構成される。

<調査研究>

(1) 問題

取り上げるテーマは何かを明示する。取り上げるテーマに対して、これまでどのような研究がなされていたか（先行研究）をレビューし、取り上げるテーマを臨床心理学的に理解するための理論を整理し、自身の問題意識とこれまでの研究との関連を明確にする

(2) 目的と仮説

上記の問題を踏まえて、なぜ論文を書き、調査を行うのかを説明する。また、事前にどのような結果が予測されるか（仮説）、その結果を検討し仮説を検証するにはどのような方法で調査を行い、どのような統計処理をすればよいのか見通しを記述する。

(3) 方法

調査について全く知らない人が、調査や検査、実験を再現できるように詳細かつ簡潔に説明する。

(4) 結果

得られた調査結果から言える事実（記述統計データ、各種統計分析による検定結果、半構造化面接内容等）についてまとめる。客観的にかつ、わかりやすく文章で説明すると同時に、適宜、図表を用いる。ここでは自身の意見は書かない。

(5) 考察

結果で得られたことを根拠として、「目的」で立てた仮説が妥当か否か、支持されるか否かを判断し、その内容を適宜、これまでの先行研究に照らし合わせながら、論理的に述べる。思ったことや感じたことについての「感想」を書くのではない。目的にそった結果が得られなかった場合は、その要因は何かを検討する。最後に、今後の検討課題を論ずる。

仮説が棄却された要因を問題があったと結論づけると、論文自体成り立たなくなる。論文として成立させる上で、方法を先に決めるのではなく、問題を明確にして目的を絞り、仮説を立てることが重要であることを理解しておく必要がある。

<文献研究>

構成は調査研究と変わらない。しかしレポートではない。(1)はじめに、(2)問題と目的、(3)仮説、(4)考察、(5)まとめ、で構成される。(2)～(4)は、テーマによって章立てや見出しを工夫して構成するとよい。先行研究の文献をそのまま転記して羅列しただけでは、文献研究にはならないしレポートにさえならない。調べた先行研究の文献をどうまとめるかに、各自の個性が反映される。考察では、先行研究の展望を経て、まだ明確にされていないことを見いだしたり、疑問を投げかけたりすることを通して、どのようなことが新たに考えられるか、を筋立てて論じる。

検討する素材がある調査研究に比べ、検討する素材を探し出すために、相当量の論文、著書を読み込まなければならない。

4.3 引用・参考文献の書き方

詳細は、心理臨床学研究論文執筆ガイド(日本心理臨床学会 HP)を参照し、それにならうこと。

<例>

・論文の場合

辻村裕子 (2011)「重症強迫性障害であるクライアントへの認知行動療法過程」心理臨床研究, 29(1), 62-72.

・書籍の場合

清水栄司 (2010)『認知行動療法のすべてがわかる本』 講談社

・書籍の場合 2

岡嶋美代・小松千沙都・原井宏明 (2008)「*章の題*」内山喜久雄,坂野雄二(編)『認知行動療法の技法と臨床』(日本評論社) 所収

・外国語文献(日本語訳あり)の場合

Curwen, B., Palmer, S., & Ruddell, S. (2000) Brief cognitive behaviour therapy.

下山晴彦 (監訳) (2004)『認知行動療法入門』(金剛出版)

5. その他

- (1) 指導教員、副指導教員が割り当てられているが、他の教員にも自分の考えをまとめて積極的に相談しに行くこと。
- (2) 先輩の卒業論文を借りることができる。共同研究室の卒業論文貸出票に記入。貸し出し期間は2週間。一度に3冊まで借りられる。
- (3) 諸先輩の論文では、文献の扱い方や図表の作り方にずさんなものも少なくない。文献提示は慣れてしまえば簡単なことなので、計画発表の段階から明記を徹底させ、論文完成に備えること。先輩の関連する論文は参考になるが、それらより完成度を高める努力を怠らないこと。
- (4) 2004、05 年の卒論要約は冊子として、それ以降の卒論・卒研の要約は CD として共同研究室に備え付けられている。貸出はしていないが、閲覧できる。
- (5) 購入希望図書について：書庫に見あたらない書籍で必要なものがあれば、希望図書リストに記入し、金山先生まで。専攻での購入が妥当と判断された図書については随時購入する。ただし購入後、図書登録にかなり時間がかかる場合がある。
- (6) 借りた本は期限内に必ず返すこと。情報ライブラリーの図書について、督促を受ける者が例年多く出ている。今年度は、専攻の汚名返上のため返却をすること。必要となる文献は重なることがある。次の人がすぐに借りられるよう、必要箇所をコピーするなどして速やかに返却すること。
- (7) 上記執筆スケジュールは、新型コロナ感染拡大の状況等によって変更が生じる場合がある。その際は、教員の指示に従って執筆を進めること。

<サンプル>

年 月 日

先生

天理大学人間学部人間関係学科
臨床心理専攻

印

卒業調査研究にかかわる調査へのご協力のお願い

この度、下記学生が、卒業調査研究のために、先生ご担当の授業の時間中に、調査を実施させていただきたいとのこと、ご了承いただけますよう、教員からもお願い申し上げます。

なお、調査内容につきましては、受講生への負担は最低限にとどめるよう、教員が精査しております。得られましたデータは、個別データとして扱うことなく統計処理を行いますので、プライバシーが問われることはございませんし、データを目的以外には使用しないことを、念のため申し添えます。

学生には、受講学生の方々の貴重な時間をいただく以上、万全の準備はもちろん、データを最大限、卒業調査研究に活かす努力を惜しまず取り組むよう、バックアップする所存です。

卒業調査研究題目

学生名

学籍番号

実施希望授業科目名

曜日 限

実施調査内容（質問紙名と項目数、所要時間）

質問紙名

（項目）所要時間 約 分

※実施日・開始時刻につきましては、先生のご都合に合わせて学生にご指示ください。

質問紙が複数の場合、各自フォントサイズを調節して、この依頼書が 1 ページにまとまるようにする。

年 月 日

先生

天理大学人間学部人間関係学科
臨床心理専攻

印

卒業調査研究にかかわる調査へのご協力をお願い

この度、下記学生が、卒業調査研究のために、先生ご担当の授業の時間中に、調査を実施させていただきたいとのこと、ご了承いただけますよう、教員からお願い申し上げます。

なお、調査内容につきましては、受講生への負担は最低限にとどめるよう、教員が精査しております。得られましたデータは、個別データとして扱うことなく統計処理を行いますので、プライバシーが問われることはございませんし、データを目的以外には使用しないことを、念のため申し添えます。

学生には、受講学生の方々の貴重な時間をいただく以上、万全の準備はもちろん、データを最大限、卒業調査研究に活かす努力を惜しまず取り組むよう、バックアップする所存です。

卒業調査研究題目

学生名 _____ 学籍番号 _____

実施希望授業科目名 _____ 曜日 _____ 限 _____

実施調査内容（質問紙名と項目数、所要時間）

質問紙名 _____ （ _____ 項目）所要時間 約 _____ 分

※実施日・開始時刻につきましては、先生のご都合に合わせて学生にご指示ください。